

井戸端だより第50号記念

(第1号 1993年1月20日～ 年4回発行)

くらしの学習会活動記録

自然豊かな庭づくりと蝶のワカボク
蝶のくる庭

監修：楠 博幸

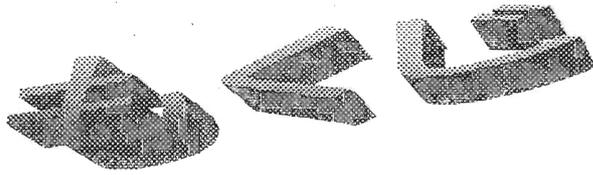


蝶の好きな蜜を出す花や幼虫の食べる
蝶の舞う庭をつくってみよう



名水の里重信パネル展

六月二二日から二六日まで



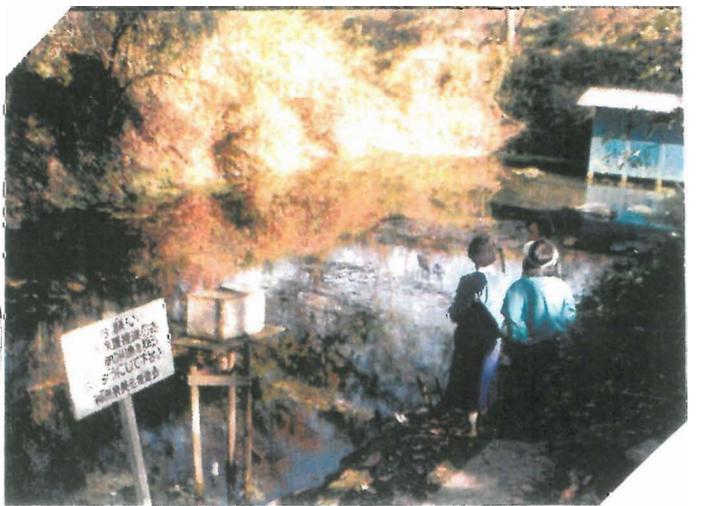
くらしの学習会活動記録		
1993年	1
1994年	2
1995年～1996年	5
1997年～1998年	6
1999年	7
2000年～2001年	8
2002年～2005年	9
くらしの学習会会報「井戸端だより」見出し一覧	10
『井戸端だより』50号を迎えて～活動12年余の軌跡～	19
くらしの学習と歩んだ12年を振り返って	21
例会報告(4月・5月)	23
6月定例会報告	24
重信浄化センター 水すまし(説明図)	26
重信浄化センターを見学して	27
「重信川の自然をはぐくむ会」報告	28
第3回東温市議会定例会を傍聴	29
雑感	31
重信学習会のみなさま	33
愛媛新聞掲載文(岡本太郎の壁画東温で修復ほか)	35
読者からのたより 編集後記	37

くらしの学習会活動記録



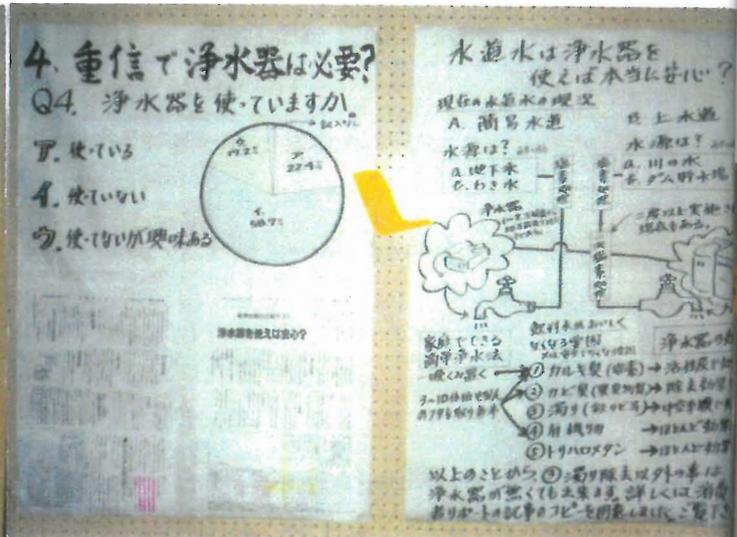
1993年

- ・「くらしの学習会」設立・趣意書作成
- ・水についての勉強会
- ・重信町水道課で説明を聞く
(簡易水道であること・取水口・水質検査など)
- ・取水口見学
- ・湧泉見学 (杖の淵・ひよこたん池公園・三ヶ村泉・龍沢泉・柳原泉・お吉泉・森の木泉・野中泉)
- ・重信川の中流で水生生物採集と農薬残留検査の依頼
- ・福井高専の先生の話聞く (検査結果など)
- ・重信川の源流を訪ねる
- ・町長との話し合い
- ・県生活センターで「水」をテーマのパネル展示に参加
- ・柳川堀割物語の広松氏講演会に参加
- ・西条名水シンポジウムに参加
- ・下水道について勉強会
- ・五十崎町小田川の近自然工法による河川改修見学と住民グループとの座談会



1994年

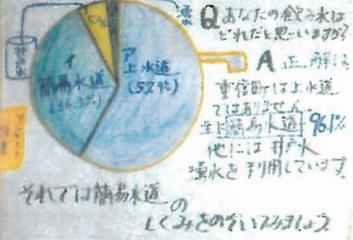
- ・ 佐々木健（広島電気大学銘水研究会）講演会とパネル展の開催-----[愛媛新聞 5/25 6/25]
- ・ 楠先生の話を書く
- ・ 講演会の資金集めに、バザー開催
- ・ 泉見学会
- ・ 泉の絵葉書作成----[愛媛新聞 11/5 朝日新聞 11/18]
- ・ 龍沢泉のゴミ拾い、自然観察会



I 飲み水

今年度5月～6月に10のアンケート調査を行いました。対象は延寿650のうち344名の方々にアンケートを実施しました。結果を各項目ごとにまとめました。どうぞご覧ください。

1 あなたの飲み水はどれ?



Q あなたの飲み水はどれだと思いますか?
A 正解は重信町は上水道と地表水(98%)他には井戸水と湧水を利用しています

それは簡易水道のしくみのない場所です

上水道は簡易水道と何が違うの?
上水道は浄水場から送られる水で、安全でおいしい水です。一方、簡易水道は井戸水や湧水で、安全が保証されず、味や匂いもさまざまです。また、簡易水道の水は、大雨や地震などで汚染されることがあります。

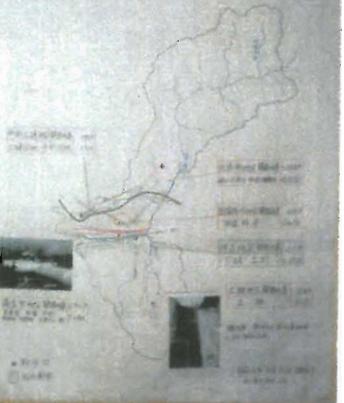
2 あなたの飲み水はどこから?

Q あなたの飲み水はどこから来ていると思いますか?

地下水	134	(38.9%)
地表水	198	(57.6%)

A 実は重信の水は、上林山の雪を溶かしてほとんどが地下水です。重信町は地表水で水は地下水も、自然の浄化作用でおいしい水となり、町内6ヶ所の取水口でくみ上げられ、送水管で私たちの飲み水となります。上林は、地表水を取水口でとり、送水管で運んだ水を飲んでいます。町内6ヶ所の取水口には、各取水口の取水範囲は、右の図の通りです。

重信町の給水区域



源流
流れない

安心?
上水道
浄水?

II 排水

くらしの水は



命の水

5 節水していますか?

Q 節水が排水と関係していますか?
A はい、関係しています。節水することで、排水の量を減らし、下水道の負担を軽減できます。

6 水回りに排水機を使っていますか?

Q 排水機は、排水の量を減らすのに役立ちます。節水と排水機の使用は、排水の量を減らし、下水道の負担を軽減します。

1 あなたの家の排水方法は?

Q あなたの家の排水方法は?
A 排水機を使用しています。排水機は、排水の量を減らし、下水道の負担を軽減します。

あなたの家の排水はどこへ



水とくこのかわり

1	生活排水(トイレ、洗面、キッチン)
2	雨水(屋根、庭)
3	地下水(井戸)
4	湧水(山泉水)
5	上水道(浄水)
6	地表水(川、湖)
7	海水(海水)
8	工業排水(工場)
9	農業排水(農家)
10	その他(雨水貯留)

終わりに
残す残したい
子どもたちに残す、最後の自然循環の華園として、私たちは残された教訓を、命の水の安全を知らせてくれる場所として、重信の宝物として、命の水の安全を、子どもたちに残したい。



1995年

- ・龍沢泉のゴミ拾いコンサート……[愛媛新聞 5/9]
- ・三ヶ村泉水利組合の人達との話し合い
- ・三ヶ村泉ホテル見学会
- ・重信町定例議会傍聴
- ・産業課課長さんに泉に関しての進展状況を聞く
- ・樹木見学
- ・異文化体験 (サリーとチャイナドレス……
インドのヒラさんと中国の郭さん)
- ・出会い塾 (海外青年協力隊……渡部さん)
- ・大林先生と楠先生の話聞く
(望ましい泉の姿の今後について)
- ・異文化体験 (餃子……郭さん)



1996年

【朝日新聞 ひと彩々 12/13】

- ・出会い塾 (ピーターさん)
- ・出会い塾 (新聞記者)
- ・ホテル観察会
- ・奥重信行き
- ・指定ゴミ袋導入についての説明会に参加
- ・ゴミ分別勉強会に参加
- ・出会い塾 (ヒラさん)
- ・自然観察会(皿ヶ嶺登山)



1997年

- ・町長との話し合い
- ・重信クリーンセンター見学
- ・出会い塾
(インカの遺跡を旅して
----中野さん)
- ・日本語モデルレッスン
- ・絵手紙教室
- ・ホテル観察会
- ・出会い塾
(マヤ、アステカ文明を訪れて。
----宇野さん)
- ・出会い塾
(オーストラリアからの
留学生ジョビーナさん)



1998年

- ・脳死についての学習会
- ・フラワーアレンジメント
- ・出会い塾 (クリスさん)
- ・「水と環境」講演会
- ・出会い塾
(グルジア共和国からの
留学生マリアさん)
- ・蜜蝋作り





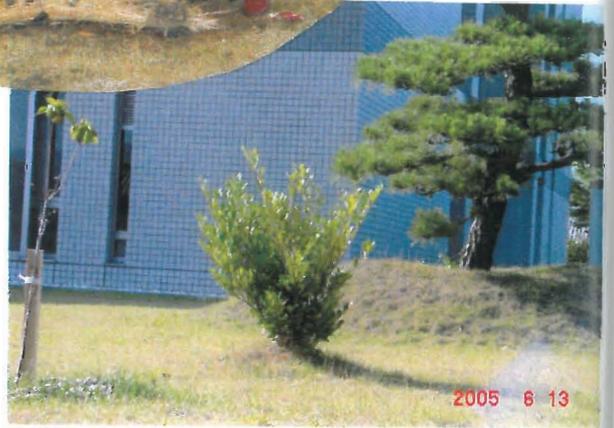
1999年

- ・カレーパーティ (ヒラさん)
- ・出会い塾 (犬伏さん)
- ・出会い塾 (動物園獣医)
- ・絵葉書を町内の小中学生に配布
- ・国際シンポジウム“地球環境と自然”に参加
- ・春のおさんぽ会
- ・上林地区の農業集落排水処理場を見学
- ・坂村真民さんの記念碑除幕式に参加
- ・ストレッチ
- ・出会い塾 (崔 幸源さん)
- ・丸井さん宅訪問



2000年

- ・春のおさんぽ会
- ・タイムダラー学習会
- ・重信町役場の新庁舎見学
- ・公開質問状
- ・秋のおさんぽ会
- ・阿歌古溪谷散策
- ・町長との話し合い
- ・ヒョンの木の植樹 (庁舎敷地)



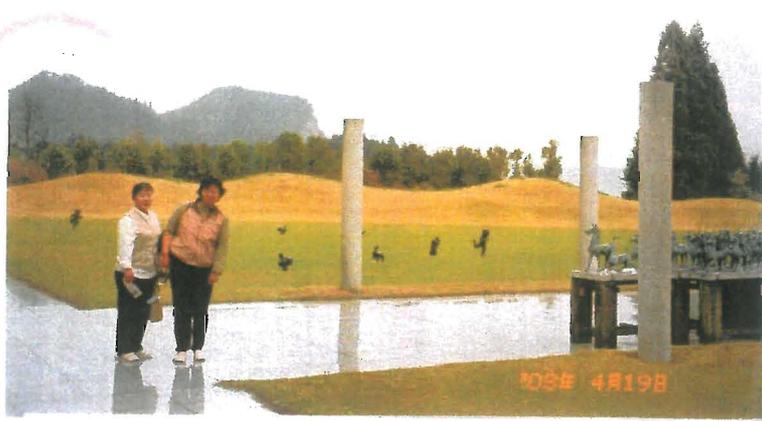
2001年

- ・市町村合併推進要綱策定検討委員会を傍聴
- ・おさんぽ会
- ・牧野植物園
- ・「蝶のくる庭」出版…[愛媛新聞 5/8 8/17]
- ・出会い塾 (マダガスカル留学生バムさん)
- ・秋のおさんぽ会
- ・ポレポレ野あそびの会



2002年

- ・合併協議会を傍聴



2003年

- ・重信川砂防資料館見学
- ・合併協議会を傍聴
- ・久万方面行き
- ・イサム・ノグチ庭園美術館見学
- ・「重信川の自然をはぐくむ会」市民フォーラムに参加
- ・伯方の塩工場見学
- ・容器回収業社「松山容器」と
ペットボトル再生業者「帝松サービス」見学
- ・庚申庵見学
- ・重信浄化センター場内整備意見交換会に参加
- ・丹原西山興隆寺紅葉狩
- ・「重信川の自然をはぐくむ会」参加



2004年

- ・えひめエコハウス見学
- ・「重信川の自然をはぐくむ会」参加
- ・アサヒビール四国工場見学
- ・ウマノスズクサ移植
- ・出会い塾（ペルー、レオご夫妻）



2005年

- ・今治例会
- ・酒だる村で花見例会
- ・「重信川の自然をはぐくむ会」参加
- ・東温市下水処理場見学
- ・ジャコウアゲハの絵はがき作成



くらしの学習会 会報「井戸端だより」 見出し一覧

第1号 (1993年1月20日発行)

- ・ 重信町水道取水口見学
- ・ とにかく川へ!の半日 (Y)
- ・ 年間計画
- ・ 「水の勉強会」の報告

第2号 (1993年4月27日発行)

- ・ 泉づくしの半日 (T)
- ・ “飲み水はどこから?” 重信町取水口見学 (T, M, M, Y)
- ・ 松くい虫防除のための農薬空中散布 (M)
- ・ 重信町総合公園の計画案を見て (T)
- ・ カゲロウたちのその後 (Y)
- ・ 一口メモ 合併浄化槽って何? (M)

第3号 (1993年7月21日発行)

- ・ 水源地めぐり (S)
- ・ 杖の淵Vひよこたん池公園 (KとG)
- ・ こんにちわ 町長さん (Y)
- ・ 十和村から (M)

第4号 (1993年11月30日発行)

- ・ 奥重信行き (T)
- ・ 重信川の源流を分け入って (M・M)
- ・ おなじみカゲロウさんの先生が来たヨ (Y)
- ・ くらしの学習会 県生活センターで「水」をテーマのパネル展示に参加 (み)
- ・ 柳川掘割物語の広松氏講演 (K)
- ・ 西条名水シンポジウムに参加して (H・M)
- ・ 「水の都」西条を訪ねて (T)
- ・ 下水道 (M・M)
- ・ 下水道の話 (A・M)
- ・ 一口メモ 合成洗剤と石鹼の見分け方

第5号 (1994年3月17日発行)

- ・ いかざき小田川 村おこし (S・T)

- ・ さそわれて海へ川へきれいな水を (K・O)
- ・ <公共下水道 VS 合併浄化槽>比べてみれば (M・M)
- ・ 一口メモ 単独浄化槽
- ・ おいでるぞなもし! NHK 民放テレビで好評 佐々木健先生 (広島電気大学銘水研究会) (Y)

第6号 (1994年8月10日発行)

- ・ 重信川と私たち (Y)
- ・ 「くらしの学習会」に参加して (Y・O)
- ・ 楠先生宅を訪れて一トンボは水の見張り番一 (A・M)
- ・ 銘水の里 重信パネル展
- ・ 麦秋バザーに参加して (M・T)
- ・ 緊急 泉見学会

第7号 (1994年9月30日発行)

- ・ 節水、節水、節水。
- ・ 「水、リサイクルしています」(松山 S・N)
- ・ 「講演会」雑感 (N・N)
- ・ パネル展 (一般 M・S)
- ・ 講演会のあとの交流会風景
- ・ 講演、パネル展会計報告
- ・ 新聞の切り抜き (重信町の主婦ら パネル展一水のこと、もっと知って—)
- ・ ひみつの場所 (T・S)
- ・ 愛媛発信の絵葉書作りしました
6枚組 350円
- ・ 一口メモ ちょっといい美術館

第8号 (1994年12月22日発行)

- ・ 龍沢泉のゴミ拾い、自然観察会 (C・M)
- ・ 重信川か、いいなあ… (松山 T・K)
- ・ 最初、私は… (I・Kちゃん)
- ・ “泉の絵葉書”に反響

- ・ 新聞の切り抜き (重信の主婦ら 泉保存へ 絵はがき)
- ・ 「銘水の里・重信パネル展」の為のアンケートに寄せられた御意見 (Y・H)

第9号 (1995年3月3日発行)

- ・ 暮らしの学習会総会を行いました
- ・ 新聞の切り抜き (三ヶ村泉改修計画)
- ・ 泉の絵はがきによせて パートII (H・M)
- ・ 暮らしの学習会 会計報告
- ・ 絵はがき売り上げ数 (2/28 現在)
- ・ 新たな広がりネットワークを (M・M)

第10号 (1995年6月1日発行)

- ・ 例会報告
- ・ 水利組合の総会に参加 (T・H H・M)
- ・ 三ヶ村泉の水利組合の方々に、お目にかかって (A・M)
- ・ 水辺のつどい ゴミ拾いコンサート
- ・ 泉のつどいに参加して (K・O)
- ・ 水辺のつどいに参加して (A・M)
- ・ 新聞の切り抜き (龍沢泉周辺を美しく 主婦グループが清掃)
- ・ 三ヶ村泉について、お手紙をいただきました
- ・ 三ヶ村泉 ホテルの夕べ

第11号 (1995年10月3日発行)

- ・ 9月例会報告
- ・ 傍聴傾聴 重信町定例議会
- ・ 町長の答弁
- ・ 楠先生 (南日本自然史研究所長) に「木」について、お話をお聞きしました (K・K)
- ・ 泉の絵はがき その後の反響 (銀行で展示) (H・M)
- ・ 新聞の切り抜き (三ヶ村泉 トンボやチョウの楽園)
- ・ 絵はがき売れ行き絶好調 丸三書店湊町

店にて (H・M)

- ・ お便り続々…うれしい悲鳴
- ・ 三ヶ村泉とホテルの夕べ (6月10日) に参加して (K・O)
- ・ 「もっともらしいけど、あやしい」のコーナー

第12号 (1995年12月22日発行)

- ・ 産業課課長さんに泉についての進展状況を聞く
- ・ 10月例会 (大木見学) 報告 (N・I)
- ・ サリーとチャイナドレスを着ました (K・O)
- ・ いろいろな人に出会いたい (出会い塾) (K・K)
- ・ 三ヶ村泉の保全を巡る現状報告 (H・M)
- ・ 大林先生と楠先生に聞いてきました、望ましい泉の姿の今後について (Y・Y A・M)
- ・ 12月例会 (町に提出する意見) 報告
- ・ 異文化体験パートII
- ・ ちょっといい話

第13号 (1996年4月10日発行)

- ・ 1月例会報告
- ・ 2月例会報告
- ・ 3月例会 (出会い塾) 報告
- ・ 出会い発見 ピーターさん (Y)
- ・ ピーター・サーシーさんの話を聞いて (Y・G)
- ・ NEWS 白形さんの写真入選

第14号 (1996年7月2日発行)

- ・ NEWS 鳥の絵葉書
- ・ 出会い発見 (新聞記者) (Y)
- ・ 出会い塾に参加して (R・D 他中学生)
- ・ 自然観察会 (ホテル) (K・K)
- ・ 奥重信を訪ねて (M・T)
- ・ 炭の効用

第15号 (1996年10月1日発行)

- ・ 考えよう 私たちと地球の未来のために (A・M)
- ・ 指定ゴミ袋導入についての説明会に参加して (K・O)
- ・ 丸井さんからの郵便り (M・M)
- ・ 自然との出会い (K・K)
- ・ 三ヶ村泉の感想 (小学生)
- ・ 自然観察会に参加して
- ・ 展示会のお知らせ
- ・ 絵葉書売り上げ 最終報告

第16号 (1996年12月24日発行)

- ・ ちょっと悲しい話
- ・ 10月28日例会報告
- ・ 11月25日例会報告
- ・ “ゴミ分別勉強会”に参加して (K・O)
- ・ やる気になれば (Y・Y)
- ・ 重信町のゴミの行方 (A・M)
- ・ コープえひめ中予環境グループ発行「環境通信」12号より (何気なく燃やしたものからダイオキシン)
- ・ 新聞の切り抜き (分別、減量 町を美しく)
- ・ 不要品交換ネットワーク (T・H)
- ・ 9月27日第4弾 出会い塾—ヒラさんとの楽しいひととき— (N)
- ・ 第2回自然観察会 (皿ヶ峰登山) の感想 (C・O 他こども達)
- ・ 12月9日例会報告
- ・ 新聞の切り抜き (ひと彩彩 足元を見つめて)
- ・ くらしの学習会 1996年会計報告

第17号 (1997年3月24日発行)

- ・ こんにちは 町長さん (Y)
- ・ 1月例会報告 (K・O)
- ・ 重信町史 人物小伝より (三ヶ村泉の誕生) (H・M)

- ・ 新聞の切り抜き (課題多い河川法改正案)
- ・ BIG NEWS—NHK特別番組「四国の自然」三ヶ村泉—

第18号 (1997年6月14日発行)

- ・ 3月～6月例会報告
- ・ アメリカ メリーランド滞在記 (Y・G)
- ・ 「再びアメリカへ行って気づいたこと」
- ・ いきなり楠先生のお宅におじゃましてきました! (K・K)
- ・ 重信クリーンセンター見学 (R・D)
- ・ 新聞の切り抜き (ダイオキシン関係)
- ・ 資料 (重信町のゴミの行方)
- ・ 新聞の切り抜き (ペットボトル法施行から1ヶ月)
- ・ 重信クリーンセンターを見学しての感想 (K・O K・Y S・S A・M E・T)
- ・ 第5回出会い塾 (インカの遺跡を旅して) (Y他)
- ・ 日本語モデルレッスンの実施 (T・H)
- ・ 感想 (Y・G A・M Y・Y E・K)
- ・ ちょっといい話

第19号 (1997年9月22日発行)

- ・ 7月例会 (絵手紙教室) 報告
- ・ ホタル自然観察会 (E・K)
- ・ 私の絵手紙入門 (M・T)
- ・ 新聞の切り抜き (重信、皿ヶ峰から風穴周辺—昆虫の宝庫—開発でピンチ)
- ・ 新聞の切り抜き (秋が楽しみ 私設博物館—公立施設も脱帽—松山の楠さん 近く着工)
- ・ 重信の自然観察 (K・K)
- ・ 重信町の分別収集について (R・D)
- ・ 新聞の切り抜き (ごみの再資源化 有望事業とみた)
- ・ こんなことしています (朗読奉仕) (K・O)
- ・ 行って来ました四国平成義塾 (Y)

- ・ ブツブツ ヒトリゴト (O)

第20号 (1997年12月20日発行)

- ・ 10月例会 (奥重信行き) 報告 (H・M)
- ・ 三ヶ村泉に行きました (K・O)
- ・ 11月例会報告 (A・M)
- ・ 9月30日出会い塾 (マヤ、アステカ文明を訪れて) (A・M)
- ・ アステカ・マヤ紀行話を聞いて (G)
- ・ 11月7日出会い塾(オーストラリアからの留学生ジョビーナさん) (A・M 他子ども達)
- ・ 12月例会 (「デルネス」コンサート) 報告 (H・M)
- ・ 右手に網、左手にバケツ (T・S)
- ・ アキニレ散策 (Y・Y)

第21号 (1998年3月20日発行)

- ・ 1月例会報告
- ・ 脳死についての学習会 (S・M)
- ・ 2月例会 (フラワーアレンジメント) 報告
- ・ フラワーアレンジメントに参加して (E・K)
- ・ 新聞の切り抜き (エコロジーを求めて)
- ・ こんなことしています—放送大学で学生気分を— (T・H)
- ・ 新聞の切り抜き (最近の報道から)
- ・ パソコンは楽しい—ひねもす俳句工房— (Y・Y)
- ・ ストレッチ体操への誘い (R・D)
- ・ 暇な時にはこんなことやっています (K・K)
- ・ お料理を楽しんでいます (Y・G)
- ・ 私のひとりごと (A・M)
- ・ 絵本のことあれこれ (H・M)

第22号 (1998年6月30日発行)

- ・ 4月例会 (クリスさんのお話を聞く会) 報告 (K)
- ・ 5月例会 (「水と環境」講演会) 報告—森林

について思うこと— (K・F)

- ・ 林先生のお話を伺って (T)
- ・ 「重信川水系河川環境管理基本計画」を読んで (K・K)
- ・ 6月例会報告
- ・ みんな知ってる? グルジア共和国
- ・ 出会い塾 (グルジア共和国からの留学生マリアさんのお話を伺って) (T・F)
- ・ 子供の感想いろいろ
- ・ 健康住宅について (M)

第23号 (1998年10月6日発行)

- ・ 資料 (あなたを待っている人がいます 骨髓バンクに登録を)
- ・ 骨髓バンク ドナーコーディネーター村松さんのお話を伺って (T・S)
- ・ 新しいメンバー斉藤さんの話より (H・M)
- ・ 資料 (新聞記事より 環境ホルモンについて)
- ・ 無題 (M・S)
- ・ 最新医学の知恵より

第24号特別号 (1998年12月14日発行)

出前朝日 制作協力

- ・ 楽しかった蜜蝋作り
- ・ 10月例会 (秋を訪ねて) 報告
- ・ 11月例会報告
- ・ 対話しよう 子ども達と
- ・ 身近な自然アキニレ林
- ・ 蜜蝋はどこから?
- ・ 雪虫
- ・ 楠博物館特別展へのお誘い
- ・ こんなことしています (異文化と付き合い、植物画との出会い)
- ・ ボランティアと行政
- ・ 日々雑感

第25号 (1999年3月30日発行)

- ・ ヒラさんのカレー (K・O)

- ・ 3月例会報告
- ・ 10回出合い塾(犬伏さん—やりたいことを思い続けよう—) (Y・Y)
- ・ 11回出合い塾(動物園の獣医さん) 報告と子供の感想 (K・K)
- ・ とどけました「大切にしたい泉の自然」絵葉書を町内の小中学生に配布

第26号 (1999年6月30日発行)

- ・ 国際シンポジウム“地球環境と自然”に参加して (T・H)
- ・ 春のおさんぽ会
- ・ 春の色 たくさん見つけました (E・K)
- ・ 重信公共下水道計画について (R・D)
- ・ 資料(重信町内河川水質検査結果)
- ・ 上林地区の農業集落排水処理場を見学して (H・M)
- ・ 坂村真民さんの500番目記念碑の除幕式に参加して (T・S)
- ・ 草木染めへのお誘い (T・S)

第27号 (1999年10月22日発行)

- ・ 7月8月例会(ストレッチ) 報告
- ・ 8月例会(出合い塾) 報告
- ・ 9月例会(介護保険) 報告
- ・ ストレッチ体操を家庭で!
- ・ Let Stretch!
- ・ 介護保険について (E・K)
- ・ 新聞の切り抜き(介護保険関係)
- ・ 介護保険の説明を聞いて感じたこと (A・M)
- ・ 出合い塾(崔 宰源さん)
- ・ 新聞の切り抜き(太陽光発電 重信町新庁舎に導入)

第28号 (1999年12月13日発行)

- ・ 11月例会(伊野町の丸井さんを訪ねて) 報告

- ・ 伊野町における在宅要介護者支援体制
- ・ 伊野町の介護者支援体制についての感想 (S・M N・I A・M T・H)
- ・ 泉めぐり (T・S)
- ・ 資料(水の会会報より オキチモズクについて)
- ・ 「泉の絵はがき」のその後(町内小中学校全員に配布)

第29号 (2000年3月15日発行)

- ・ ドキュメンタリー映画「住民が選択した町の福祉 鷹巣町」を見て (T・H)
- ・ 介護保険について (R・D)
- ・ 私の宿題 (K・O)
- ・ 市町村合併問題特集 (T・H)
- ・ 最近 思うこと (E・K)
- ・ 冬芽の顔 (T・S)

第30号 (2000年6月30日発行)

- ・ 4月例会(春のおさんぽ会) 報告
- ・ 5月例会(タイムダラー学習会) 報告
- ・ 6月例会(重信町役場の新庁舎見学) 報告
- ・ 春のおさんぽ会に参加して (S・M)
- ・ タイムダラーをはじめませんか
- ・ 関前村「だんだん」の紹介
- ・ タイムダラーの説明を聞いて (M・T)
- ・ 自慢ばなし (M・T)
- ・ 重信町新庁舎を見学して (A・M)
- ・ 新聞の切り抜き(佐古ダム 威容現わす)
- ・ 雑感 (K・O)

第31号 (2000年9月28日発行)

- ・ 8月例会報告 (T・H)
- ・ 資料(いま、なぜ市町村の合併なの)
- ・ 新聞の切り抜き(地方の時代)
- ・ 新聞の切り抜き(政策論争成り立たず—重信町長、町議選を振り返って—)
- ・ 新聞の切り抜き(2候補者に公開質問状)

- ・ 公開質問状の返事
- ・ 日本人と英語 (T・H)
- ・ 届け、この願い
- ・ 新聞の切り抜き (学校「自主性重視」勉強は)
- ・ 新聞の切り抜き (学力二極化避けられず)
- ・ この夏を振り返って (A・M)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ モネの庭を訪ねて (R・D)

第 32 号 (2000 年 12 月 22 日発行)

- ・ 秋のおさんぽ会 (A・K)
- ・ 10 月例会報告
- ・ 新聞の切り抜き (どうなる市町村合併)
- ・ 11 月例会 (阿歌古溪谷散策) 報告—はじめての「くらしの学習会」— (T・K)
- ・ 町長との懇談会
- ・ ヒヨンの木の植樹
- ・ 会員の広場 (R・D)
- ・ 「地図から消された島」見学記 (A・M)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ 野鳥の鉛中毒をご存知ですか (T・S)
- ・ 提案します「自然観察ワークブック」(K・K)

第 33 号 (2001 年 3 月 30 日発行)

- ・ いま、市町村合併について望むこと
- ・ 重信町における、これまでの市町村合併への取り組み
- ・ 1 月例会報告 (R・D)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ 新聞の切り抜き (考察 市町村合併)
- ・ 第 7 回市町村合併推進要綱策定検討委員会を傍聴して (S・K)
- ・ 重信町議会傍聴席に望む (T・H)
- ・ 地球温暖化防止のための愛媛県の取り組み (T・S)

第 34 号 (2001 年 6 月 28 日発行)

- ・ 合併問題の今 (T・H)
- ・ おさんぽ会に参加して (M・T)
- ・ 環境についての専門家の話 (S・K)
- ・ 資料 (ゴミを買っている?)
- ・ 牧野植物園を訪ねて (R・D)
- ・ 「蝶のくる庭」出版 (K・K)
- ・ 新聞の切り抜き (伊予銀の地域文化活動助成金)
- ・ 出会い塾 (マダガスカル留学生 バムさんを迎えて) (A・M)
- ・ 話題の歴史教科書を読みました

第 35 号 (2001 年 9 月 17 日発行)

- ・ 市町村合併についての話を聴きました (T・S)
- ・ 9 月例会報告
- ・ 新聞の切り抜き (役場は選挙事務所ではない)
- ・ 環境問題 (水) を考える (S・K)
- ・ 雑感 (私の宿題のその後) (K・O)
- ・ 新聞の切り抜き (ケータイの利便と危険)

第 36 号 (2001 年 12 月 31 日発行)

- ・ 10 月例会 (秋のおさんぽ会) 報告 (K・M)
- ・ 11 月例会 (ポレポレ野あそびの会) 報告 (E・K)
- ・ 市町村合併に関する住民意向調査について
- ・ アンネのバラを訪ねて (A・M)
- ・ 9 月県議会を傍聴して (S・K)
- ・ 読み聞かせの効用 (T・H)
- ・ しし座流星群をみました (T・S)

第 37 号 (2002 年 3 月 31 日発行)

- ・ ごみを考える (S・K)
- ・ くらしの学習会 会計報告
- ・ 川の汚染の現実 (横河原) (S・O・S)

- ・ 私にとっての自然観察 (K・K)
- ・ アルツハイマーとアルミの関係 (T・H)
- ・ ゆとり教育の行方 (T・H)

第38号 (2002年6月30日)

- ・ 例会報告 (4月・くらしの学習夜の集い・5月)
- ・ 未来の学校像～夢の学校～学校に対する夢～ (R・H)
- ・ 重信町を離れて (E・K)
- ・ ひと味違う自然ウォッチングのすすめ (T・S)
- ・ ごみ分別変更によつての戸惑い (A・M)
- ・ ほたる (S・K)
- ・ 町役場の担当者にQ
- ・ 新聞の切り抜き (環境問題)

第39号 (2002年9月30日発行)

- ・ 7月例会報告 (M・T)
- ・ 合併問題と川内町議会の現状 (S・M)
- ・ 合併協議会を傍聴して (A・M)
- ・ 場外馬券場設置について (A・M)
- ・ 私にとっての自然観察 (K・K)
- ・ 大切な水 (S・K)
- ・ 新聞の切り抜き (川内町議会の9月定例会流会)

第40号 (2002年12月20日発行)

- ・ 11月例会報告
- ・ レジ袋とマイバッグNOW(杉並区民より) (A・K)
- ・ 資料 (大気中の二酸化炭素の測定結果について) (M・T)
- ・ 布ナプキンを使つてみて (E・K)
- ・ 鳴門市「賀川豊彦記念館」を訪ねて (A・M)
- ・ 夫婦旅行記 (R・D)
- ・ 「想」 (K・O)

第41号 (2003年3月28日発行)

- ・ 1月例会報告 (A・M)
- ・ 2月例会 (重信川砂防資料館見学) 報告 (T・S)
- ・ 重信川砂防資料館を訪ねて (M・T)
- ・ 3月例会報告
- ・ 行つてみた ニュージーランド (T・H)
- ・ 合併協議会を傍聴して (R・D)
- ・ 新聞の切り抜き (重信、川内8月ごろに合併調印)
- ・ 冬の庭 (H・M)

第42号 (2003年6月27日発行)

- ・ 「重信川の自然をはぐくむ会」くらしの学習会が参加するかどうかをめぐる (T・H)
- ・ 4月例会 (久万方面へ) 報告 (A・M)
- ・ 5月例会 (イサム・ノグチ庭園美術館へ) 報告 (A・M)
- ・ イサム・ノグチ庭園美術館を訪ねて (R・D)
- ・ 藪ができたら、鳥が来た (T・S)
- ・ ごみ集積場の当番をして (S・K)
- ・ 新聞の切り抜き (地名は語る)

第43号 (2003年9月24日発行)

- ・ 「重信川の自然をはぐくむ会」市民フォーラムに参加して (S・K)
- ・ 新聞の切り抜き (みずべの魅力情報発信)
- ・ 8月例会 (伯方の塩工場見学) 報告
- ・ 塩の道 (H・M)
- ・ 9月例会 (容器回収「松山容器」、ペットボトル再生「帝松サービス」見学) 報告 (R・D)
- ・ えひめ環境大学より (A・M)
- ・ 新聞の切り抜き (世界異常気象)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ 行つてみた ルーマニア

- ・ ある購読会員からのお便り

第44号 (2003年12月24日発行)

- ・ 中国旅行記 (S・K)
- ・ 建築当初に復元された「庚申庵」(A・M)
- ・ 庚申庵を訪ねて (T・H)
- ・ 重信浄化センター場内整備意見交換会に参加して (T・H)
- ・ 「重信川の自然をはぐくむ会」活動報告 (K・K)
- ・ 重信川にジャコウアゲハの保護地を (K・K)
- ・ ホームヘルパー体験談 (M・T)
- ・ 12月雑感 (R・D)
- ・ 新聞の切り抜き (町村議会 子ども館用地費 4007万円など可決)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ 資料 (コープえひめ—大気中の二酸化窒素の測定結果報告)
- ・ こころを聴く 愛媛のちの電話 (M・T)
- ・ 新聞の切り抜き (人間の盾から見たイラク戦争)

第45号 (2004年3月26日発行)

- ・ 1月例会報告
- ・ えひめエコハウス見学 (A・M)
- ・ 新聞の切り抜き (日本の先端技術 燃料電池)
- ・ 新聞の切り抜き (ガス電気 家庭市場争奪戦)
- ・ 西条市にすんで (K・T)
- ・ 杉並区 杉並ウォッチング (S・K)
- ・ 音 (R・D)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ 「重信川の自然をはぐくむ会」活動報告 (K・K)
- ・ 妊娠、出産という自然体験 (T・S)

第46号 (2004年6月30日発行)

- ・ 新聞の切り抜き (和田重信町長引退へ)
- ・ 4月例会 桜にさそわれて (A・M)
- ・ 4月例会報告記 (R・D)
- ・ 蝶のボランティア (K・K)
- ・ 「身近な水環境の全国一斉調査」に参加して (A・M)
- ・ 新聞の切り抜き (重信、川内の事業者ごみ流入)
- ・ 新聞の切り抜き (闘うシニア 日本地名研究所)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ 閑谷学校を見学して (T・H)
- ・ 四角いハコモノ (S・K)
- ・ 新聞の切り抜き (川内に最終処分場増設へ)

第47号 (2004年9月21日発行)

- ・ 「重信川の自然をはぐくむ会」活動報告 (K・K)
- ・ 資料 (コープえひめ—大気中の二酸化炭素の測定結果報告) (A・M)
- ・ 愛媛新聞社アンケートから見えてきたえひめの現代食事情 (A・M)
- ・ EM生活始めませんか (E・K)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ 思い出ばなし (M・T)
- ・ 「華氏911」を見て (M・T)
- ・ 行ってみた アメリカ (T・H)

第48号 (2004年12月15日発行)

- ・ 11月例会 ペルーお話会に参加して (R・H)
- ・ 新東温市に思う～第2回東温市議会定例会を傍聴して (S・K)
- ・ 「こんにちは！知事です」を傍聴して (A・M)

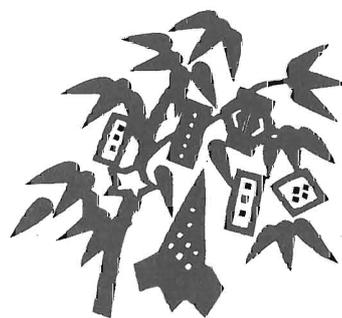
- ・ リサイクル法 (R・D)
- ・ 五十崎トンボ観察会に参加して (K・K)
- ・ 蝶のくる庭 (T・K)
- ・ 男性も子育てを (T・S)
- ・ 雑感 (K・O)

第49号 (2005年3月29日発行)

- ・ 1月総会・会計報告
- ・ 2月今治出張例会報告 (A・M)
- ・ 3月例会報告 (R・D)
- ・ 世界の風力発電 20%増 (新聞切抜き)
- ・ はじめてみた東温市議会のインターネット中継 (S・K)
- ・ 春風に誘われて、ウォーキングはいかが?
(E・K)
- ・ 雑感 (K・O)
- ・ センス・オブ・ワンダー (新聞切抜き)
- ・ ある読者の雑感

第50号 (2005年6月26日発行)

- ・ 暮らしの学習会活動記録
1993年～2005年
- ・ 暮らしの学習会会報「井戸端だより」見出し一覧
- ・ 『井戸端だより』50号を迎えて
～活動12年余の軌跡～
- ・ 暮らしの学習と歩んだ12年を振り返って
- ・ 例会報告 (4月・5月)
- ・ 6月例会報告
重信浄化センター 水すまし
- ・ 重信浄化センターを見学して
- ・ 「重信川の自然をはぐくむ会」報告
- ・ 第3回東温市議会定例会を傍聴
- ・ 雑感
- ・ 重信学習会のみなさま
- ・ 新聞切り抜き (岡本太郎の壁画ほか)
- ・ 読者からのたより・編集後記







『井戸端だより』50号を迎えて
～活動12年余の軌跡～

10年一昔と言いますが、くらしの学習会も発足して12年余りが過ぎました。

思い返せば、その当時人気の浄水器が、重信の水にも本当に必要かが井戸端会議の話題になったことがきっかけで、重信町に住む主婦仲間が、水の勉強会を開き、「水をきれいにする会」代表の武井糸さんのお話を聞いたのが、1992年12月。自分たちの使っている水についてもっと知りたくて、年明けて1993年1月にこの会を立ち上げました。役場の人の案内で取水口を見学して、重信が簡易水道であること、主に伏流水を利用しているので、水質がとてもいいことも知りました。その後、町内に点在する美しい泉に魅せられましたが、その近くに不法投棄されたゴミには心を痛めたりもしました。

その年の6月には、不用品バザーの売上金で、広島電気大学の佐々木健先生を招き、町民会館で「名水鑑定人 重信を歩く」と題した講演会と、わたしたちが調べて分かったことを展示したパネル展を同時開催しました。その後、湧き出る清水と貴重な生物の宝庫である三か村泉が水利組合によってコンクリート三面張りにされると聞いて、何とか自然のままで残したい一心で泉の保全を訴えた絵葉書を作って販売しました。専門家集団の口添えもあってか、三か村泉は、そのままの形で残され今や重信八景の一つになっています。絵葉書と言えば、完売した時点でその収益をどのように使うか頭を痛めました。保全に役立ててもらおうと申し出ましたが、水利組合にも、町にも受け取ってもらえませんでしたので、結局、再版して、無料で未来を担う小学生・中学生にメッセージをそえて配布しました。中学校では、その後理科の先生による更に深めた学習へと繋がりました。

私達の活動は、水にとどまらず、教育・医療・福祉・ゴミをはじめ広く環境問題とその時、会員が気になることを取り上げ、みんなで話し合い、時には視察・見学、時には行動を起こしてきました。その中で、子供達に色々な人（国籍・職業を問わず）との出会いを提供しようと「出会い塾」を開いてきましたが、外国の方からは、アメリカ、インド、バングラデシュ、グルジア、韓国、中国、オーストラリア、マダガスカル、ペルーなどの話を聞きました。今や出会い塾は、お話会と変貌し、大人たちにとっても楽しみの場となっています。各国の料理教室・民族衣装の試着会を通しては、その背後にある文化・思想にも触れることができました。日本人では、青年海外協力隊経験者、女性新聞記者、獣医、臓器移植コーディネーター、インカ帝国を旅した人、イタリア・ド

イツ文化に詳しい人、会員の夫達の専門（「脳死」・「木と環境」）の話などを聞き、この活動は、ある会員の職業紹介の本の出版へと発展していきました。

子供を巻き込んだ活動として、他に自然観察会、自然遊びを取り入れた「おさんぽ会」も何度も行い、大人も子供も、自然と親しみました。何かを感じる心をいつまでも持ち続けたい・・・そんな気持ちからでした。

行政の関係者とも、その都度話し合いを持ってきました。町長とも、担当部局の方とも。会報「井戸端だより」は、毎号、町（現在は市）関係者・議員諸氏にも読んでもらっています。行政・議会の活動にも目を向け、私達の率直な声を伝えることは、住民の義務だと考えているからです。決して敵対関係ではなく、共に手を携えよりよい町（市）にしていくのだというスタンスを今後も保ちたいものです。

活動の中で、元県博物館勤務の楠先生と知り合い、貴重な資料を提供していただいたり、色々アドバイスを受けてたりもしました。そのことが、ある会員の熱意によって、「蝶のくる庭」の出版となって結実しました（制作費の一部は、伊予銀行地域文化活動助成金による）。現在準備中であるジャコウアゲハの保護を通じた自然再生のための絵葉書作成もこの延長線上にあると言えると思います。近々いいものができそうです。ご期待下さい。

この12年余り、その間会員の出入りもありましたが、頑張りすぎることなく細々と活動を続けてきました。一度も途切れることなく、年4回の会報も作り続け、皆さんに読んでもらっているということは、それ自体意味のあることだと思っています。活動の幅を限定することなく、どこからも独立して自由にやってこられたことが、長続きの秘訣かもしれません。一人では出来ないことも、みんなでやれば出来ることもあるという気持ちを大切にこれからもやっていきたいと思っています。今後とも末永く宜しく願いいたします。

林 智子



くらしの学習会と歩んだ12年を振り返って

くらしの学習会の会報『井戸端だより』50号を発行するにあたり、私自信の足跡をひもといてみることにしました。

第一歩は4号(1993年11月30日発行)にありました。武井糸さんの下水道の話して11行ほどの文章も恥ずかしながら載せていただいていた。この頃えひめ生協での活動が忙しく参加率は良くなかった時期です。1994年6月の「パネル展」「佐々木健先生の後援会」開催にあたり、資金集めの為に開いた「麦秋バザー」に参加させてもらって会員の皆さんとも少しづつ顔馴染みになり、「くらしの学習会」の空気にもなじんできた頃、丸井さんとコンビで会報のお手伝いをし始めたのが第6号でした。

「パネル展」での失敗談を恥ずかしながらお話します。開催中、2人組でパネル展示場の当番にあたった時のことです。お相手(誰だっけ?)が来なくて私一人での当番中、黒っぽいスーツを来た男性が入って来られ展示物を見て下さり帰られる後ろ姿を見送りながらその先の黒塗りの車に乗る姿を見て気付いたのです。「和田町長だ!」と。パネル作成全般に関わってなかった私は説明する自信もなく、和田町長の顔も今一つ記憶にとどめていなかったこともあって芳名帳に記帳してもらうこともなくさらりとお帰ししてしまいました。大人の対応がきちんと出来なかった故の大失敗でした。

その後、「三ヶ村泉の絵葉書」「ごみ袋の指定」「介護保険」「公共下水道」「市町村合併」等、その時々私たちの身の回りに起こる様々な事について学習してきました。斉藤さんの「おさんぽ会」は大人も子供も新鮮な体験です。今は、「ジャコウアゲハの絵葉書」作成に奮闘中です。

子供達に色々な出会いをと始った「出会い塾」には息子も参加させてもらって異文化体験を堪能。通常、私の生活の中で巡り合うことのない国(インド・アメリカ・オーストラリア・グルジア・マダガスカル・ペルー…)方々とお話をしたり、異文化理解として、インドカレー作り・中国流の手作りギョウザや肉まん作りを体験させて頂きました。マダガスカルのコンサートへも誘っていただきました。

「インカ文明・マヤ・アステカ文明」のお話は、地理好きの息子の影響も



あり、とても楽しい一時でした。

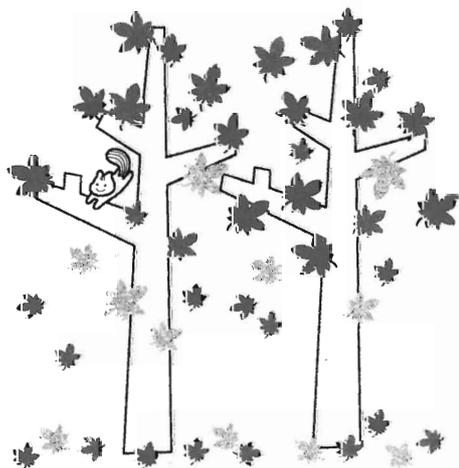
「イタリア・フィレンツェ」のお話の後、今一番行ってみたい外国になり、以後、美術番組への興味がより強くなり、近場の美術館へも足を運ぶことが増えました。定例会でも、香川のイサムノグチの「庭園美術館」や久万の「青銅の回廊」へも行きましたね。ほとんどお膳立てをしてくれ、場所の提供もしてくれる林さんにはとても感謝です。

くらしの学習会以外での訪れた所の報告も書かせてもらっています。広島『地図から消された島大久野島』日本軍が毒ガスを製造していた島。福山市『ホロコースト記念館』アンネのバラを尋ねました。徳島『賀川豊彦記念館ドイツ館』どれも平和に関する資料館で、報告義務をかせられなかったので「井戸端だより」に書かせてもらうことでしっかり足跡を残すことができ、充実感があります。

振り返り読んでいて、私はくらしの学習会のメンバーになっていたことによって重信（今は東温市ですが）の住人としてしっかりこの地に根付いた生活を送って来られた様に思えます。生協活動だけで松山市の方ばかり見ていたら、こんなに重信のことを知らないまま、地元に見知りもない寂しい時期がやって来る日が訪れたかも知れなかったからです。

でも、生協活動があったからこそ、伊藤さんとの関わりから、原発学習会に誘ってもらい、そこから、くらしの学習会へとつながっていったのは、とてもラッキーな事でした。今年から、14年振りにコープえひめのコープ委員会に返り咲き、活動を一つ増やしました。ちゃんとくらしの学習会には、今まで道り参加させていただきますので、今後とも宜しくお願い致します。

A・M





例会報告

4月例会 4月10日(日)酒だる村へお花見

ご主人のご理解とご協力のもと今治の会員も駆けつけて、チラチラと風に舞う花びらと共に酒だる村へ。重信川の兩岸の桜、特に横河原橋・新横河原橋一帯の華やかなこと。その下に集う人・ひと・ヒト。途中、山之内公民館の桜の古木、裏手の水槽のめだかやおたまじゃくしに挨拶をし、烏ヶ嶽城址で一息。最近完成した急カーブの舗装道路の傍には、「烏ヶ嶽城址」の立て看板と「天然記念物烏ヶ嶽城跡叢林」の石碑がたつ。かつて、諸伏静江前町議が「御神木を切らないで」と署名を添えて県に直訴し、御神木を守ることが出来た、まさに、そのものその場所である。一同深呼吸をし、感慨深くその立て看板を丁寧に読み思いを新たにす。

酒だる村の入口の桜は今が満開。あめごの刺身や塩焼き、鹿鍋を堪能した後、蝶の絵はがき作成の打ち合わせ。前回の例会で参加者全員が出したイメージ絵図や考えが徐々に具体化していく。

5月例会 5月31日(火)林さん宅

手作りのおやつと香り高いお茶を前に林さん宅で例会。

- ・Kさんが作ってくれた蝶の絵はがきの見本を前に、枚数は？構図は？字は？字配りは？封筒は？・・・と進めていく。後はKさんに一任する。
- ・林さんから、大学で日本人に教えている教材「留学生のための論理的な文章の書き方」「斎藤孝の実践日本語ドリル」を紹介された。今時の大学生は大学で日本語を勉強しているのか、しかも留学生のための・・・と意外な思いをしたが、後日、Amazon.co.jpで取り寄せ中身を見た。自分のあやふやな知識に愕然とした。
- ・Kさんがワシントン郊外で息子さんの家族と過ごした12日間の話。
12階のマンションの一室、広々としたダイニングルーム、2つのベッドルームには、夫々にバスルームがついている。各部屋の収納庫が広く、部屋全体はバリアフリーになっていて、掃除は外出時に掃除ロボットにおまかせ。洗濯物を戸外に干すという習慣のない住宅地、広告宣伝物が殆どない街はすっきりしている。広大な緑いっぱい花いっぱいの土地に、おだやかな人懐っこい人々の笑顔に出合え、懐の深さを感じた。また、孫を連れて行った時の病院（歯医者）の日本との対応の違いに驚いた。順番が来ると待合室まで医師が来て、付添いの家族全員と握手した後問診をする。孫を見て「気持ちよく眠っているからもう少し待ちますか」と笑顔で話しかける。ファミリーレストランでも、その専門の知識を持つ従業員と客の軽妙なやりとり、近くの席の家族連れは直ぐに会話がはずみ一期一会を楽しんでいる。子育て中の母親達はネットワークをつくり、週一回程度集り情報交換をし、なれない外国生活も孤立することはないようだ。

S・K

6月定例会報告

6月8日(水)活動会員4名 購読会員Hさん ゲストOさんの6名で出かけました。

まず、国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 重信川出張所へ、昨年、ジャコウアゲハの食草ウマノスズクサの保護をする為移植した土手に、今年も囲いをする許可をもらう為に訪れました。技術係長 多田さんと、もうお一人の職員さんと面談し、Kさんがあらかじめ電話で話をしてくれていた為、すんなり許可はもらえました。今後、保護をする土手周辺の草刈りや工事予定を聞き、6月末頃には草刈りが入るとの情報に、早急に囲いの必要性があり、Kさんがしてくれることになりました。ただ、国土交通のネーム入りの看板を立ててもらえないのかの要望には答えて頂けませんでした。(国土交通省で、注意を促す看板を立てる場合でもネームを入れず立てているし、ネームを入れることによって、問い合わせなどの電話があっても対応できない等の理由)

重信川出張所を後に、次の目的地、東温市重信浄化センターみずすましへ松山市の境、南高井病院のすぐ横、真新しくシャレた建物が並んだ立派なセンターはありました。案内をお願いした、大森係長と敷地内へ。まず、管理棟へ入り資料をもらって簡単に施設の概要と、事業費(総額35億9137万1千円)財源(国庫補助金18億4385万3千円 地方債15億7520万円 市単独費1億7231万8千円)等の説明を受けて、施設見学の為に外へ。

敷地内の施設は、匂いが出る施設を中心部に(近隣への配慮)配置。水の流れを追っていくと、

①沈砂池ポンプ棟 まだ新しい事もあり、生下水が入って来るわりには、匂いは少ない様に感じた。流入量が増え、暑くなって来るとどうなるか?砂やゴミを取り除いた汚水は→

②オキシデーションディッチ プロア・汚泥ポンプ棟のプロアより空気を送り込み、汚れをたべる微生物(ツリガネムシ・ヒルガタワムシ)を生き生きとさせ汚水を食べ沈みやすい塊にする。処理水は→

③最終沈殿地 池の中でゆっくり流し、塊になった微生物は底へ沈み、汚水が90%以上無くなったきれいな水(上澄水)は→

④放流ポンプ棟 塩素で消毒した処理水を放流する。処理水の一部は→

⑤ビオトープ 生き物が生息できる場所（湿地）には、あめんぼがいっぱいで、植えた植物も元気に育っていました。ビオトープから出ていく水はまた、①へ戻し処理する。

こうした水の流れを追って行くと、敷地内をグルグル巡り、まだ工事中の汚泥処理棟の屋上へ。東温市が一望でき、施設全体が見渡せ、写真を撮り、管理棟へ。※汚泥の処理 当面、半分は廃棄物としてオオノ開発へ 半分は肥料の原料として四国中央市の工場へ。いずれは全部四国中央市の工場へ搬出する予定。施設内で使われている建材類は汚泥・ガラスをリサイクルしたものを多く使っているそうです。

管理棟に戻り質問の時間は、参加者の方々は、これから工事にかかる所の住民がほとんどだったので、主に、各戸の排水設備工事の事、資金の融資斡旋制度・助成金・受益者負担金・下水道使用料の事など、多くの疑問点を投げ掛けていました。供用開始が近くなると地域で説明会が行われるので詳細はそちらで聞いて下さい。住民5人以上集まれば見学も可能ですので、市役所に問い合わせせてみて下さい。

《下水道の正しい使い方》

（台所）野菜くず、てんぷら油の廃油などを流さない。ディスポーザーは使わない。

（排水口）台所・浴室などの排水口には大きな物が流れ込まないように必ず目ざらをつける。

（洗濯）洗剤を多量に使用すると汚水処理の妨げになる。ベランダに設置の洗濯機は、必ず汚水の配水管につなぐ。

（水洗トイレ）トイレットペーパー以外は流さない。故障の原因になる。

（ます・マンホール）土砂・廃油などの廃棄物を捨てない。マンホールをむやみに開けない。危険です。

（下水道には）ガソリン・シンナー・アルコール類・農薬など危険物は流さない。

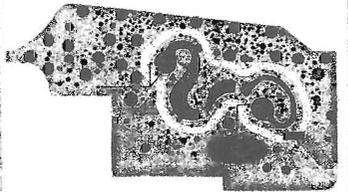
（雨どいは）雨水と汚水を別々に流す「分流式」です。汚水管にはつながない。

約2時間しっかり見学をし、その後、時間のある活動会員3名は、『ジャコウアゲハの絵葉書』作成にあたり、『蝶のくる庭』の監修をしてくださった楠 博幸先生に助言をお願いしに行きました。

A・M

重信浄化センター 水すまし

ビオトープ



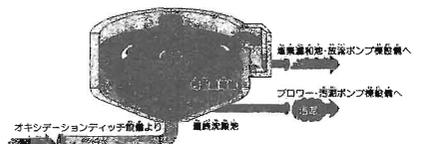
⑤

ここでは、処理水を流して生き物が生息できる場を作っています。野生の昆虫や植物などが生きる場所となります。

最終沈殿池設備

③

ここでは、オキシデーションディッチから流れてきた汚水を、この池の中にゆっくりと流します。ゆっくり流すのでオキシデーションディッチで大きな菌となった微生物の集まりは池の方へ沈んでいきます。沈れが90%以上なくなった、きれいな水(上澄水といいます)は、放流設備に送られます。



最終沈殿池

放流ポンプ機舎へ

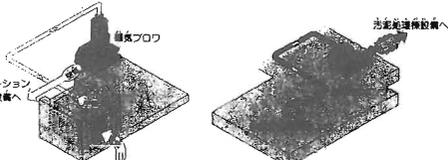
プロロー汚泥ポンプ機舎へ

オキシデーションディッチ設備より

プロロー・汚泥ポンプ機舎設備

ここでは、オキシデーションディッチに空気を(菌類)を送り込むための送風機設備がはいています。

最終沈殿池でまった汚泥を、汚泥処理設備に送るためのポンプ機舎がはいています。



送風機設備

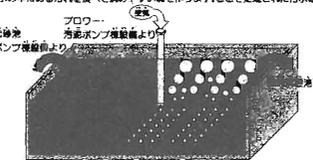
汚泥処理設備へ

オキシデーションディッチ設備より

オキシデーションディッチ設備

②

ここでは、汚水に空気を(菌類)を送り込み微生物をいざよいさせます。いざよいした微生物は、汚水の中にある汚れを食べて死みややすい菌を作ります。ここで処理された汚水は、最終沈殿池に送られます。



送風機設備

汚泥ポンプ機舎より

最終沈殿池へ

オキシデーションディッチ設備より

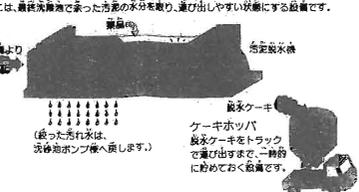
オキシデーションディッチ設備より

微生物の種類たち

- ボルディセラ(環状菌)「ツリガネムシ」
- ロリア(棒状菌)「ヒルガムシ」

汚泥処理機舎設備

ここでは、最終沈殿池でまった汚泥の水分を取り、運び出しやすい状態にする設備です。



汚泥ポンプ機舎より

汚泥脱水機

脱水ケーキ

ケーキボツバ

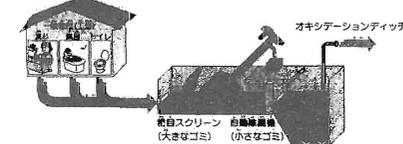
脱水ケーキをトラックで運び出すまで、一時的に貯めておく設備です。

輸送

洗砂池ポンプ機舎設備

①

最初に汚水が入ってくるところで、ここで砂などの沈みやすい物を沈め、ゴミを取り除きます。砂やゴミを取り除いた汚水は、汚水ポンプでオキシデーションディッチ(反応タンク)に送られます。



オキシデーションディッチ設備へ

洗砂ポンプ

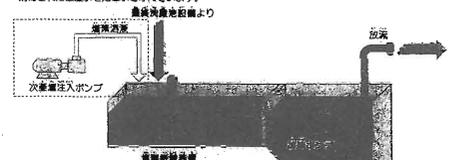
自動線掃除機 (小さなゴミ)

粗大スクリーン (大きなゴミ)

放流ポンプ機舎設備

④

ここでは、最終沈殿池から送られた上澄水を最終で消毒する施設と、放流するためのポンプ機舎がはいています。消毒された上澄水を最終水と称しています。



放流

最終沈殿池設備より

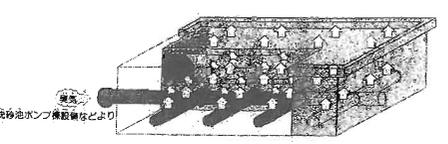
消毒機舎

放流ポンプ機舎

次亜塩素酸注入ポンプ

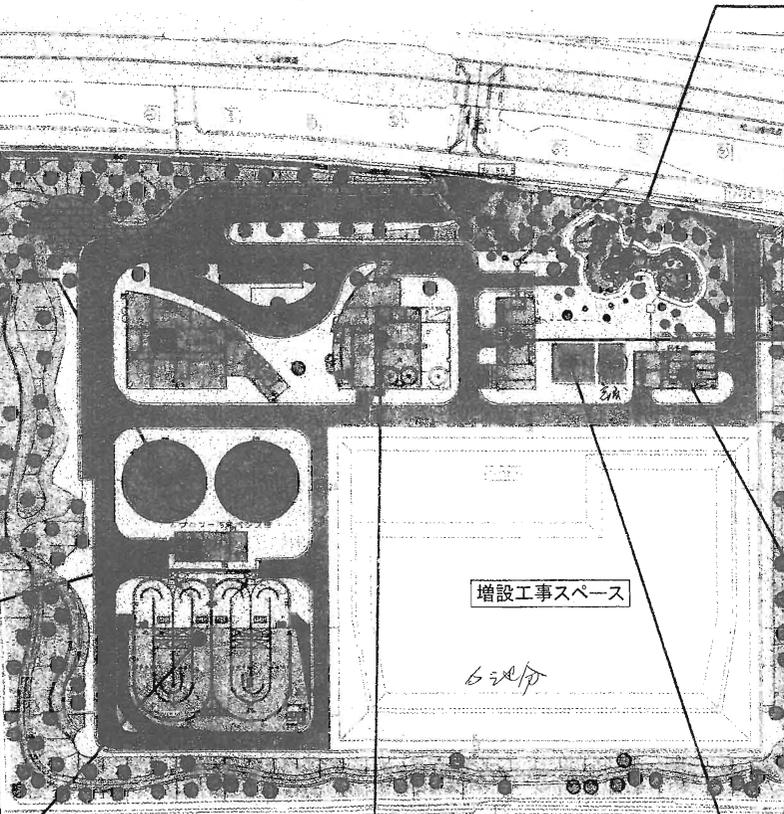
土壌脱臭設備

最終沈殿池で発生する臭気(くさい臭い)を土の中にいる微生物に食べてもらいきれいな空気にする設備です。



土壌脱臭機

洗砂池ポンプ機舎などより



海や川がよみがえります

汚れた水は、きれいにしてから流すため、川や海の水を汚さず、美しい自然が守られます。

重信浄化センターを見学して

くらしの学習会の例会に時々お邪魔させて頂き、くらしの中のいろいろ問題点・改善すべき点など主婦の立場で意見を出し合い行動を起こす、生き生きとした会員の皆様に接し、いつもパワーを貰って帰ります。自分も何かに挑戦しようと思いつつながら、健康に自信のない私、反省の毎日です。

今回も K さんに声をかけて頂き、6月8日陽射しのきつい午後、重信浄化センターの見学に参加しました。

入口で先ず目に飛び込んできた、浄化センター「水すまし」の文字、水が清らかに澄み、水すましなど生き物が住めるという思いが込められている……。公募により小学生女子児童の案を採用したとのこと。ぴったりのネーミングに感心しました。

私達6名は、まず、大森係長さんより浄化センター建設の整備経緯・事業概要等の経過説明と汚水処理の各設備の場所等の説明を受けました。

その後、工事中にもかかわらず、広大な敷地内の設備を一箇所一箇所案内し、説明して頂きました。特に、印象に残ったのは、汚水がきれいな水になり、それを利用して作られた「ビオトープ」。今年3月に撮影された写真からは想像も出来ないような憩いの場になっていました。その池の周りの草木や池の中の小さな生き物の成長に感動すら覚えました。

最後に、4階のビルの屋上に案内してくれました。腰痛のある私を気遣ってくれる K さんに励まされて一段づつゆっくりと何とか屋上にたどりつきました。高い所からはじめて見る重信の景色、少しかすんで見えにくかったのが残念でしたが、一瞬暑さも疲れも忘れるくらい素晴らしいものでした。

私達が使った汚れた水が、きれいな水に甦り、自然に帰っていく下水道の役割りを今回の見学で少し理解できたように思います。毎日の生活の中で、下水道を正しく使うということ、数年後にはこの団地も水洗トイレになるようですので、もっと勉強しなければと思っています。

暑い中、長時間案内・説明とお付き合い下さいました大森課長さんに感謝します。ありがとうございました。

M・H



「重信川の自然をはぐくむ会」報告

4月26日(火)第6回総会に出席。(内容は16年度の活動報告と17年度の活動方針、そしてこれから先の5ヶ年計画その他。)

くらしの学習会としては、かすみの森公園付近の自然再生事業がどういったものになるのか、ということと、もう一つは以前から提案し続けているジャコウアゲハの保護が、この会に入った主な目的だった。

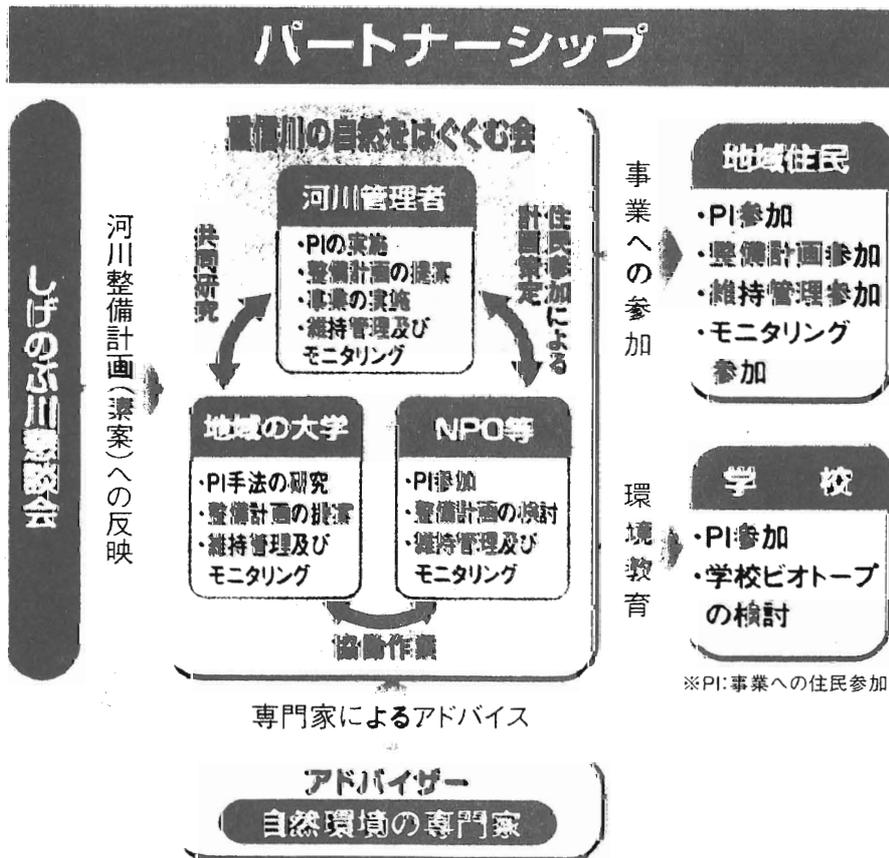
しかし今までは会に出席しても、こういった具体的な意見を言う場はあまり無いまま、他の河川の見学や、昆虫採集などに参加しただけだった。今回5カ年計画が示されて、それによると今年から具体的に松原泉再生、広瀬霞ビオトープ再生、砥部川下流水面再生、河口の整備、古川霞と開発霞の湿地再生、市坪霞水質改善と次々に実施されるようだ。幹事会から出された案では、くらしの学習会は、今年松原泉ワーキンググループに入っている。

もうひとつ、全国都市再生モデル調査というのが提案された。内容は「重信川流域の風土、文化、歴史、自然、人などについて調べ、学び、伝えること。」ここでは学習会は「自然」ではなく「水質」になっている。

河川整備基金の結果

残念ながら不採用。応募数や今年の傾向や採用基準など詳しいことは何も書かれてなかった。

K・K



第3回東温市議会定例会を傍聴

議会の日程が東温市のホームページに掲載された。会期は6月7日から21日までの15日間となっている。本会議は4日間、委員会は2日間、休会が9日間、土・日の4日間は休むとしても会期の1/3の5日間は休会。議会の度に気になりながらまだ疑問は解決していない。

それはさておき、14日一般質問の傍聴に出かけた。9時15分開会予定が15分遅れで始まった。私は5分前に5階に行ったが、傍聴席は満席、テレビ中継のあるロビーの椅子(12人)もこれまた満席で補助椅子が出る盛況ぶり。議場ではほんの一部の議員を除いてラフなクールビズスタイル。議会の権威と格式を重んじ・・・も省エネの時代の流れに譲らざるを得ないものとみえる。

大西佳子議員の質問から始まった。公用バスの運行、給食センター、男女共同参画社会づくりなど4項目の質問があった。公用バスの運行については、「東温市連合婦人会の設立総会の時、バスを出すことは、事前の市長への面談の時のOKが途中でだめになってしまった。陸運局で聞くと、無償であること、自治体が責任を持つこと、ができれば問題はないとのことなので今後は各種団体・市民に寄与するバスとして是非利用させて貰いたい」と。市長は「公用バスは、市職員が運転することになっており、前は都合がつかなかった、今後は個人使用ではなく幅広く使用できるように考えて行きたい」と答弁された。今回の傍聴者は婦人会関係者だったのか、大西議員の質問が終ればほとんどの方が帰られた。女性も議会の傍聴にも出かけ、関心のあることを生の声で聴くことは大切なことだと思う。

2番目は佐藤壽兼議員。10項目にわたる質問を通告している。30分あまり聴いていたが、長い演説に飽き、自宅に戻り用事をしながらインターネット中継を聴くことにした。

近藤千枝美議員の「とうおん出前講座」について、が気になった。市職員が講師となり指定する場所へ出向き、税金・介護保険・自主防災・環境・市民行政など町づくりについて講座をする制度が7月からはじまるそうだ。17年度予算65,000円が計上されている。市民の側も市行政に対する積極性を問われる(協働のまちづくり)ことにもなると思う。

10番目の竹村俊一議員の質問・答弁が終ったのが17:18分だった。休会日を、もう一日一般質問に当てればいいのにと思った。

S・K

給食センター
統合推進強調
教育長

東温市 (14日・定例) 大西佳子(無所属) 佐藤壽兼(共産) 藤田恒心(無所属) 丸山稔(公明) 近藤千枝美(同) 東一夫(無所属) 佐伯強(共産) 渡部伸二(無所属) 白戸寧(同) 竹村俊一(同) の十氏が一般質問した。

旧重信、川内両町の学校給食センターの統合について、岡省吾教育長は「文部科学省が、センター方式の採用やパートナーの雇用推進などによる人件費の適正化を強く指導している」と効率性やコスト面のメリットを強調し、推進に理解を求めた。

消防団員の五十五歳定年制について、理事者側は「へき地や過疎地など団員の新規加入が難しい地域では実情に応じて例外規定を設け、団員確保策を講じるとした。

本年度導入した下水道普及促進対策助成金制度では、既に引き込み工事を開始している旧川内町民の半数は助成金を受けられず不公平との質問に対し、理事者側は「早期に生活環境を向上させる措置」と制度の趣旨説明にとどまった。また総額二億四千万円を見込む助成金は、下水道使用料で賄えるとした。

事務連絡
平成17年6月1日

志津川区区長
志津川土地改良区理事長 殿

東温市 都市計画課長
(公印省略)

志津川医学部西地区のまちづくりの基本
計画図作成のための現況測量のお知らせ

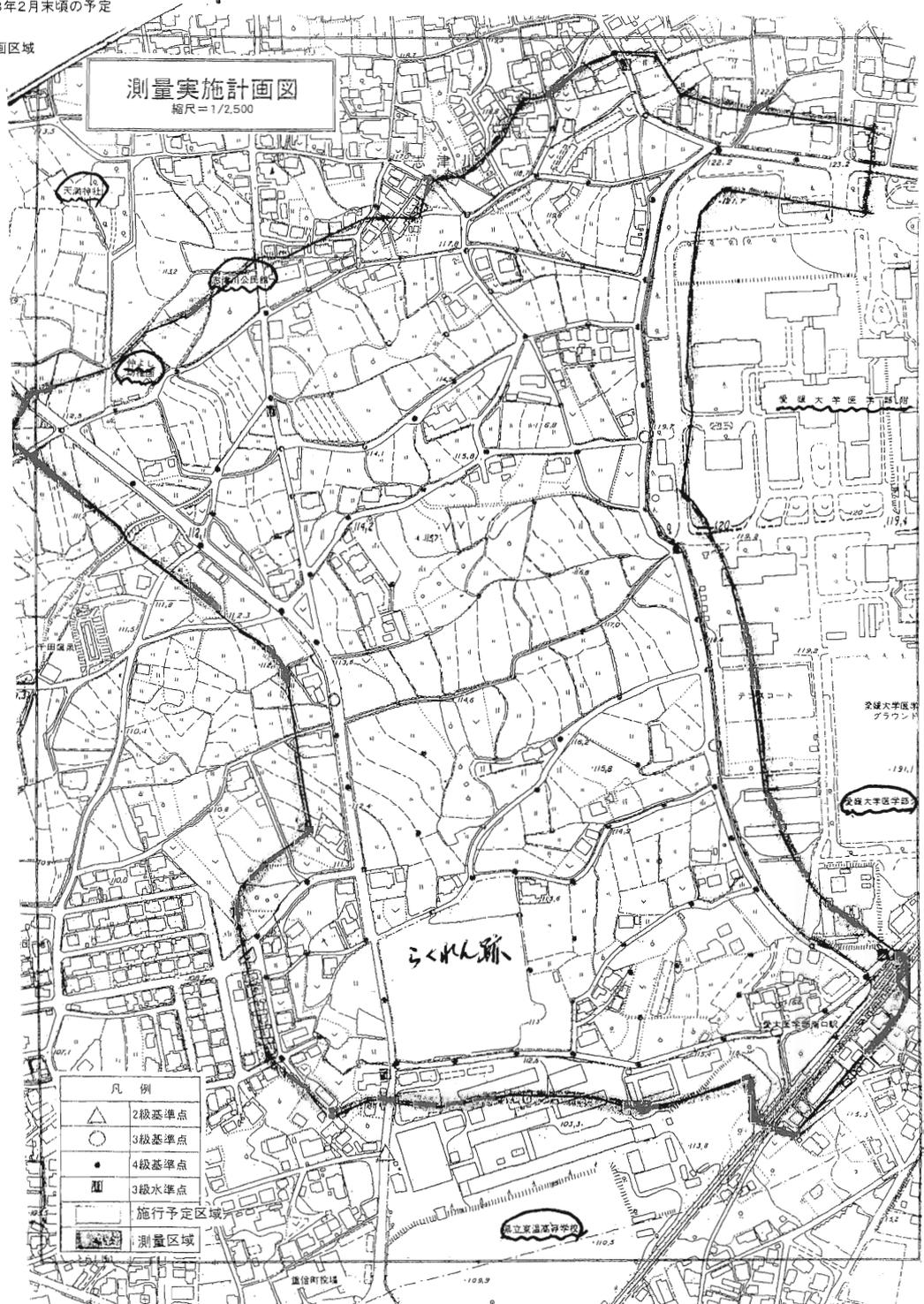
日頃より、東温市のまちづくり事業にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、今年度志津川医学部西地区のまちづくりの基本計画図を作成することとした
しております。
つきましては、下記のとおり現況測量や家屋の配置等の調査を実施いたします。ご
迷惑をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願いいたします。
なお、測量調査を行うものには東温市発行の身分証明書を携行させております。

記

- 1・日 時 平成17年6月初頃 ～ 平成18年2月末頃の予定
- 2・場 所 志津川医学部西のまちづくり計画区域
- 3・担 当 業 者 南海カソマ(株)四国支店
高松市番町2丁目17-15

前回の3月議会で松下通議員の質問にあ
った、「愛大西地区に住宅地を」が具体化し
はじめた。志津川地区に以下のような回覧
板が廻ってきた。

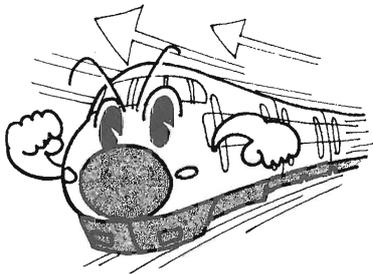
因みに、17年度新規事業として『新たな
出会いと飛躍を支える都市基盤づくり～魅
力ある市街地の形成～』として志津川土地
区画整理事業（基本設計）費が
2,2647,000円計上されている。



雑感

今年も近所の蓮根田に水が入り、ずいぶん大きくなった葉の間を鷺が餌を探して歩を進め、燕達も忙しそうに飛び交っています。ゆっくりと確実に季節が移っています。

そんな中、4月の終りには、一番安全な乗り物と信じて疑わなかった電車で想像を絶する大事故がおきてしまいました。尼崎は我家の長女が幼稚園時代を過した懐かしい所です。初めて実家から遠く離れた地での子育てにイライラすることの多かった私に、“子育て程創造的な行為はないんだから、今を楽しみながら、ゆっくりがんばろう”と声を掛けてくれた大切な友人に出逢った所です。



当時我家は阪急沿線に住んでいたこともあり、JR（国鉄）は遠くに行く時、たまに利用するもので日常の生活には馴染みの無いものでした。福知山線は彼女の紹介で城崎に行った時、一度だけ利用したことがあります。今もその車窓に広がるのどかな風景は忘れられません。それが今回の事故のニュースで、大きく様変わりしてしまったことを知りました。膨大な赤字をかかえて、多くの私鉄のひしめく京阪神地区で生き残りをかけ、黒字企業にする為、効率のみを追求し、無理に無理を重ねたことは容易に想像できます。神業としか思えない超過密ダイヤは、停車時間も秒単位と聞くと、しばしば今治駅でさえ乗り過ごしそうになる私には、乗ることも降りることも出来そうもありません。“無理を通せば道理が引っ込む”という母の口癖が思い出されます。事故は起こるべくして起きてしまったのかも知れません。利益追求と安全の確立は相容れないものだと言っていた人もいます。でも本来すべては人間が生きていく為の手段です。安全を何より優先して欲しいと痛感します。

福井県の高速増殖炉“もんじゅ”が1995年におこしたナトリウム火災事故にたいして原子炉設置許可無効を求めて住民が起こしている裁判でも2003年に名古屋高裁、金沢支部が安全基準に誤りがあったと判決を下したにもかかわらず、今回“それほどの危険は想定できない”として事実上住民の訴えは退けられました。“疑わしきは罰せず”という考えに基づいたもの、という解説がありましたが、一般的な事件においてはそうであるべきだとは思いますが、原発は、いったん何かがあった時は取り返しのつかない大惨事につながるものであり、“人間は失敗することがあり”“機械は故障することがある”ものである以上、安全上、少しでも不安がある場合は、立ち止まる勇気を持ちたいものだと思います。すべてにおいて、今の便利な生活が少々不便になっても、安全を

優先すべきであると考えます。

BSE騒動以来、アメリカからの牛肉の輸入が止まり、安く食べることのできた牛丼が消えたと大騒ぎし、先日は国産牛の小売値が最高を記録したと報道されていました。私が子供の頃、お肉はたまに食べる御馳走でした。特別の日に登場するすきやきは、父が取り仕切り、鍋から立つ湯気をじっと見守り、父の手の動き一つ一つに注目し、小鉢に玉子を割り入れて待ち、父が“いいよ”と声をかけてくれるのを今か今かと待ったものでした。半世紀も昔の光景ですが今もはっきりと思い出すことが出来ます。牛肉を安く食べることが出来る食べ物という考えはありませんでした。不思議な時代になったものだと思います。1kgの穀物を食べるということは、11kgの穀物を食べることになるともいいます。又、日本人は世界の総食料援助量の倍にあたる量の食べ残しを捨ててしまっているともいいます。食料自給率が極端に低い日本が、です。恥かしいことだと思います。

ワンガリ・マータイさんの提唱する“MOTTAINAI”を実践する為に、私なりに商品購入の際、気をつける基準を作りました。私に害を与えないこと、修理しやすいこと、輸送エネルギーの少ないもの、いつの日かゴミになった時、環境への負担が少ないもの、その商品を作っている国や人々に迷惑をかけないもの、この5点ですが、なかなか一つ一つに正確な情報が無いのが実情です。

最近の携帯電話にはびっくりする程沢山の機能が付いています。近い将来、商品についているI・Cチップに携帯電話をかざせば、すべての情報が提供されるようになってくれたら、と夢んでいます。

佐世保で女子児童が校内で殺害されるという、何ともいたましい事件から一年、同級生による作詞、高校生による作曲で“六月のひまわり”という歌ができました。最初それとは知らずに聴きましたが、久々に鳥肌が立つ様な感動を覚える、とてもすばらしいコーラスでした。子供達のもつすばらしさに触れた思いがしました。子供達の持つすばらしさを大人の狡さで壊してしまうことのない様、今、私達はもっともっと自覚しなくては、という想いを強くしました。子供達にとっての最大の環境は、その時、直接・間接に影響を与える大人達だと思いますから。



K・O

重信学習会のみなさま

「井戸端だより」50号おめでとうございます。

ご無沙汰していますが、早いもので、私が高知に来てから10年と3ヶ月経ってしまいました。この間、高知県の町（高知市となんと合併で愛媛県西条市の隣、人口2万8千人の土佐和紙の町）という地域を足場に専門の言語療法を中心に活動しています。昨年秋からは、つれあいの母親も庭に別棟を建てて一緒に住み始めました。今年は、さらにもう一度学生（高知大学人文学部大学院社会人入学）にも、戻ることとなりました。とはいえ、仕事も、種々の講演依頼も、ボランティア活動も、さまざまなおつきあいも、畑や、山の果樹園も、韓国ドラマも、すべてこなしてということで、4月から、日替わりメニューでやることに迫られ、毎日緊張の連続です。

林さんからお電話をいただいて、今の仕事や活動や勉強の中で、話題になっていることなど紹介してほしいとのことなので、いくつかお話いたしましょう。

<大学での勉強と保健福祉の現場から>

★関連領域のアメリカ医療の現状を見ていますが、ひどいものです。全体のシステムはないに等しく、一部良心的なボランティア組織や住民主導で頑張っているところもありますが、ほとんどが市場原理でうごき、お金を集めるシステムとしては、第1級で、医療費支出も世界中の半分のお金を支出していて、先進諸国の中でもダントツです。その割に、4700万人が無保険者で、乳児死亡率は先進諸国でトップ、罹患率も高くなっています。それに、1200以上の保険会社への保険請求業務その他の管理費が膨大になっていて、その管理費全部で無保険者の医療費がまかなえるというほどです。医療の質も最先端の良質の医療の恩恵を被れるのは、ごく一部の金持ちのみで、そのほかは営利的効率性（マネジドケアが適用されている）がまかり通っていて、質の悪化も招いています。それでも、日本では、最近アメリカの医療のやり方を導入（すなわち市場解放とかマネジドケアなど）しようという論調がみられるようになりました。日本は、細部にはいろいろ問題点はありますが、歴史的に近年整備された国民皆保険のおかげで、先進国のなかでも、医療費・支出は低く、しかも乳児死亡率・罹患率も低く、寿命も長くなっており、だれでも一応医療にアクセスできているわけです。この全体のことを考えないと、だまされることになりかねません。

★介護保険見直し案や自立支援法案が現在審議されています。これまで問題になっていたところが見直しされていることもあるわけですが、根底にいかにお金をかけないようにするかというのが、見え見えで、これから高齢者も障害者も大変だなという感じです。もっとみんなでどんな社会を求めているのか、高齢者や障害者のことをどうとらえるのかという根本的なところを議論し直す必

要があると思います。その上で、そこにお金をかけるのか、かけないのか、どうその資金を出していくのかを国民のコンセンサスを作り上げていくことが必要なんだと思います。

<その他>

★韓国のドラマにはまったこともあり、以前から勉強し始めていた韓国語を勉強しはじめたり、韓国の留学生をホームステイさせたりしていますが、韓国の人たちを見ていて、翻って、今の日本の社会や人間関係について考えることがあります。今の日本の社会の中では、あまり葛藤がない（あまりに自由で縛りがいい？）かあるいは葛藤に対して正面から向き合っていないのかな。とか、また、人間関係（親子、友達、先生と生徒、その他人と人とのつながり）が希薄になっていて、ひとりひとりが自分の殻に閉じこもってしまっているのかな。とか、最近も、自分の都合で勝手に人間関係を切ってしまう事例に遭遇しました。一体どうなっているんでしょうね。悲しくなります。

それにしても、最近サッカーワールドカップの日韓共同開催や韓流ブームもあり、いろんな人々の努力で、少しずつ日韓の関係が良くなってきてよかったなど思っていたのに、小泉首相の靖国神社参拝への固執によって、関係が悪化しているのが、本当に許せません。私自身の見解は、小泉首相の靖国神社参拝は、特定の宗教行事への国家の代表の参加であって、憲法違反であると思っています。また靖国神社は元軍事施設（岩波新書「靖国神社」）であり、単に戦死した兵士への慰霊を行っているにすぎないわけで、戦争による犠牲者への慰霊という意味であれば、多くの一般人（空襲や沖縄戦、満州開拓団）や外国人の犠牲者をも含む人々のために、だれもが慰霊できる施設を作ってそこに国家の代表として行くべきだと思っています。

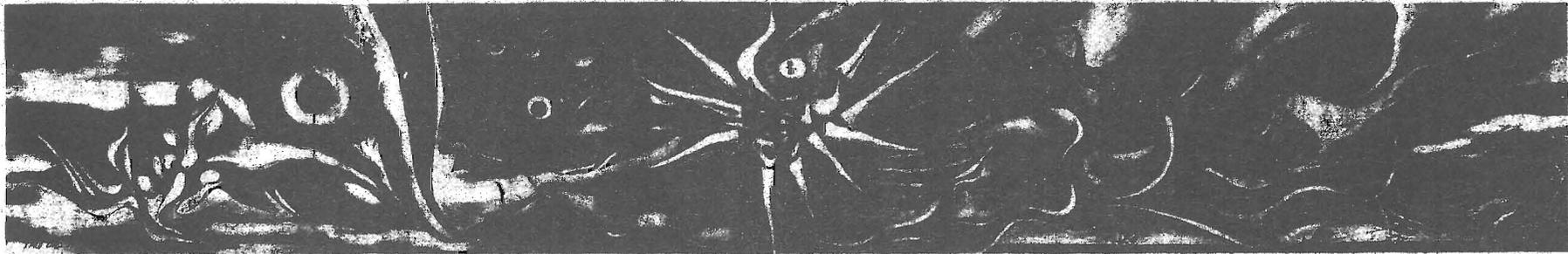
★時間をみつけては、時々近所に借りている畑（今はきゅうり、トマト、オクラ、ピーマン）での仕事や一ヶ月に1、2回ですが、山（約千坪、ひのき林を切り開いた緩やかな斜面）で果樹を植えたり手入れをしたり、収穫したり、加工したり、ささやかなスローライフを楽しんでいます。つれあいが、最近ドイツのエコシティの視察に行ってきた、日本でもその認証の取るところはないかなと話しています。四国の町なら可能性のあるところがありそうですね。

ずいぶん長い文になってしまいました。これは、たぶん私の頭が疲れていて、文をまとめる余裕がなくなっているからです。まあ、わたしのおしゃべりと思って下されば幸いです。また、いろんな形で活動にも参加させてください。

これからも、重信学習会の皆さまお一人お一人が、益々生き生きとご活躍されますように、また、この学習会という場を通して、人々がつながり、さまざまな地域の活動として展開していかれそうですように、会の益々の発展をお祈りしております。

M・M

「明日の神話」原画の下絵 (©岡本太郎記念現代芸術振興財団提供)



岡本太郎の壁画 東温で修復

岡本太郎氏の最大の壁画作品で、経済・文化人を巻き込み日本への移送が進められていた「明日の神話」が愛媛で修復される。岡本氏は本県と特に縁が深かった。修復は、まさに奇縁。日本への移送完了後、「作品をどこでどのような形で展示するか」が次の大きな焦点だ。課題は多い。

命 新たなで対岸の地爆被

敏子さんの遺志実現へ

展示先や費用課題

修復は当初、川崎市岡本太郎美術館内で予定だったが、作品が入り切らぬ断念。作品をクレーンで動かせる「サカワ」の設備環境を技術力が評価された。修復期間が長期に及ぶため、作品管理や検閲されている修復中の作品公開時の準備などが必要因はあった。しかし、同社は知名度アップなどさまざまな利点が大きいと判断し、修復を決定した。

また日本への移送完了は第一関門には過ぎない。日本への移送、修復の費用は約1億2千万円。膨大な費用をいかに捻出するか、誰がどのくらいの負担を担うかが課題だ。コトブキの糸井重里氏、資生堂創業者の福原義春氏が中心となり、作品再生を支援する太郎の船団などを設立してはいるが、支援の輪を広げたい。岡本が、カネンジャーが「かたがひ」では未知数だ。

展示場所も作品が横30センチと、ごく小さい規模のため美術館など既存施設への展示は厳しいのが実情。壁面の日本への移送、修復を「最後の仕事」としていた岡本敏子さんと親交があった関係者は、敏子さんは生前、「美術館などに入館できない作品を修復してはなご」と話しており、遺志が生かされる場所が重要だとしている。岡本敏子さんが「反戦」であるだけに、その場所への展示の意義をいかに見出すかもポイントになる。

プロジェクト推進の求心力維持に大きな役割を果たしてきた敏子さんの死去が、今後の行方に少なからず影響を与えるのは必至だ。原簿の入手と修復の期間を描いた同壁面の修復は戦後六十年の今年、「被爆地広島の対岸で」などと、敏子さんの思いをくみ立てて、敏子さんのおいで岡本太郎記念館館長の平野晴臣氏をはじめ残された関係者は岡本氏と敏子さんの思いをくみつつ、懸案事項解決の糸口を探ることにする。

(社) 文化庁・飯尾 聖

修復と愛媛の壁画 幻の巨大

岡本太郎作「明日の神話」



1968年、メキシコのアートリエで「明日の神話」を制作する岡本太郎さん (©岡本太郎記念現代芸術振興財団提供)

「明日の神話」は、岡本太郎氏がメキシコで制作した巨大壁画。1968年にメキシコのアートリエで制作された。この壁画は、岡本太郎氏の代表作の一つとして知られている。修復作業は、岡本太郎氏の遺志を実現するために進められている。

東温の企業 技術提供

「明日の神話」岡本氏の壁画は、東温で最大の壁画として知られている。この壁画は、岡本太郎氏がメキシコで制作した。修復作業は、岡本太郎氏の遺志を実現するために進められている。東温の企業が技術を提供している。

修復は、岡本太郎氏の遺志を実現するために進められている。東温の企業が技術を提供している。岡本太郎氏は、この壁画を通じて、人類の未来を展望しようとした。修復作業は、岡本太郎氏の遺志を実現するために進められている。

愛媛新聞掲載文

1400人分反対署名 「考える会」提出 東温給食センター統合

東温市の学校給食センター統合問題で「学校給食を考える会」（宮内芳美代表）が六日、市役所を訪れ、高須賀功市長と佐伯正夫市議会議長に約千四百人分の反対署名を手渡した。

会員四人と市議四人が訪問。「統合新設が最も低コストとする市の試算は根拠が不十分」とし、給食センター統合の見直しと自校方式の採用、食材の地産地消の推進などを訴えた。署名を受け取った高須賀市長は「議会で討論したい」と述べるにとどまった。

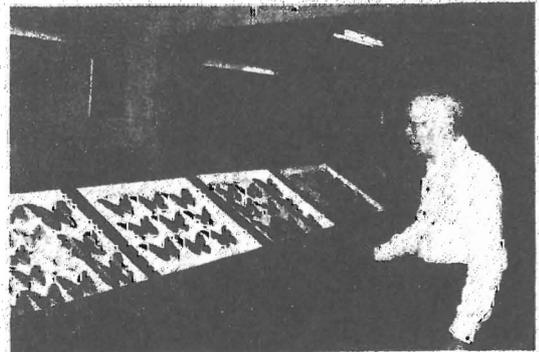
同会はさらに約三百人分の署名を取りまとめ中

で、近く追加提出する。宮内代表は「子どもの食の安全を確保するため、粘り強く活動していく」と話した。

同市では現在、旧重信町と旧川内町に各一カ所ある給食センターで約三千五百食を調理。川内の施設が老朽化しているため、合併協議会で二〇〇七年度の統合新設を決定した。市は七日開会の定例市議会の予算案に基本設計委託料など約百八十万円に盛り込んでいる。

色鮮やか 世界の昆虫1万点

松山 南日本自然史博物館で展示



最も美しいチョウも

美しい南米のモルフォチョウなどが展示されている「キラキラ輝く世界の昆虫展」

美しい光沢を持った昆虫松山新石町の南日本自然史博物館(福澤館)で「昆虫ばかり約一万点を展示する」世界で最も美しいチョウ展が、七月十日まで、まはひいほとで開かれている。七月十日まで、まはひいほとで開かれている。七月十日まで、まはひいほとで開かれている。

チョウ類や、東南アジアのトリバネアケハ類、空飛ぶ宝石・ハナムグリ類などがずらり、玉虫の厨子に使われた金緑色のヤマトタマシなど日本の美しい昆虫も展示されており、地域による差異が一目で分かる構成。

桶さん(公)は「日本の生物の由来」をテーマに四国から沖縄、東南アジアに足を運び約五十五年間さまざまな昆虫を採集。昆虫十五万点をほじめ植物や鉱物など計三十二万点を保管しており、「この美しさを多くの人に覚えてもらいたい」と話す。子どもたちに人気のカブトムシ、クワガタも展示している。

開館時間は午前10時～午後6時。期間中無休。入館料は大人二百円、小学生は半額。問い合わせは同博物館(電話089-5278)。

介護保険290団体赤字

04年度 サービス利用大幅増

県内は4市町

二〇〇四年度に介護保険財政が赤字に陥った市町村は広域連合を含め二百九十団体となり、〇三年度の百七十団体の一・七倍に増えたことが厚生労働省のまとめで八日、分かった。赤字の合計額は約三・五億の百五十億九千万円に膨らんだ。介護サービス利用が見込みを大きく上回って伸びたことなどが要因とみられている。

赤字は、各都道府県に介護保険の利用者は今後一それらの市町村は保険料を設置されている財政安定基金が各団体に貸し付けられており、〇六年度に補てんしているが、の介護保険料改定で、赤字の合計が多かった

都道府県は、福岡(約二十七億八千万円)、大阪(約二十三億六千万円)など。

介護保険の運営団体は、〇四年度は市町村合併などで全国で二千二百五十に減ったが、赤字団体は増えたため、赤字団体が全体に占める割合は

〇三年度の6・2%から12・9%と倍増した。割合が40%を超えた県は長崎、福岡、青森、群馬、埼玉、福井、岡山は赤字団体はなかった。

愛媛で介護保険財政が赤字だったのは松山、西条、東温市と愛南町の四市町。〇三年度の十市町村からは減少した。赤字の合計は前年度比約三・五倍の二億千四百二十一万円だった。

〇四年度の介護保険事業全体の収支は集計中だが、〇三年度は前年度より赤字額は縮小したものの、二百五十一億円の赤字となっている。

読者からのたより

井戸端だより「有難うございませぬ」
 ジャコウアゲハの「泉」の保全 金減（こから）の体（た）
 ます（？）活動 祈り致（ま）す（？）何もあまな（た）体（た）
 穂の公園、地城（ぢじょう）や町角にある小公園（こう）というわけに
 金がかけらる（る）市にはこれ（こ）は（は）住民（じゅう）の協（きょう）力を得（と）こ（と）思（おも）い
 ます（？） 給食センターは財政問題（せいざい）に解決（かい）すべ
 きで（？）ようが、ここ所（ところ）にすると約四倍（よっし）の経費（けいひ）とい（い）うけ
 り（？）ます（？）（地蔵（ぢざう）地消（ぢしょう））の観（かん）念（ねん）から（か）り（り）も議論（ぎろん）すべ
 きと考（かん）え（え）ます（？）（ポイント）は自校方式（じこう）がよい（よ）い（い）です（す）か
 （？）高（たか）令（れい）者（しや）など（など）の給食（じゅうしょく）「丹壘（たんらい）」との併用（へいよう）も考（かん）え（え）られ（れ）ます（す）
 体の不自由（ふじゆう）な新（あたら）しい窓（まど）口（ぐち）は、T.V.新（あたら）しい所（ところ）を、そ（そ）して井戸端（いど）だ
 より（より）して、後（ご）号（ごう）も楽（らく）し（し）み（み）たい（たい）とい（い）います（ます）。

くらしの学習会では、随時会員を募集しています。

活動会員 2,000 円/年 購読会員 1,000 円/年
 振込先口座番号（郵便局） くらしの学習 01610-5-21026
 問合せ先 TEL/FAX 089-964-6956
 E-mail: kt-hayashi@nifty.com

編集後記

くらしの学習会に仲間入りしてからまだ5年足らずの私に「井戸端だより50号記念」の編集が廻ってきた。2人の会員から資料と写真がどきどきと届けられた。ぱらぱらと拾い読みするうちにいつの間にか引き込まれ作業ははかどらない。発足2年目の夏の「名水の里・重信パネル展」にかけた情熱、行事を通じ子どもたちと共感し、共有した時間の濃さが伝わってくる。また、外国人を含めた出会い塾の講師の多岐にわたること。時間を巻き戻し再生できないものかと...

子育て真っ只中の家庭の主婦の集いが13年経ち、家庭の事情も世の中の状況も変わりつつある中で、その時々々に共有した時間、その足跡を“井戸端会議”だけに留まらず、会報「井戸端だより」として残してきたことは大きな意義がある。時として立ち止まってみることも大切。立ち止まってみて一番楽しんだのは編集に携わった私かも知れない。

なお、この記念号と共にジャコウアゲハの保護を願い《蝶の絵はがき》も作った。同時にお届けできるものと思う

S・K